



町の概要ようこそ 鹿追町へ

鹿追町は十勝平野の西北端、大雪山の東山麓に位置しており農業と観光を期間産業とする純農村地帯で、総面積の約30%を農地が占める。

年間を通して「十勝晴れ」が多く、夏は20度前後冬は氷点下15度まで冷え込む。

農業の主生産物は牛乳・牛肉・小麦・ビート・馬鈴薯・豆類・キャベツ・アスパラ・飼料作物

人口は5,117人 世帯数 2,428世帯 (65歳以上31.4%)

産業別就業者

第1次産業	35.8%	第2次産業	6.1%
第3次産業	57.6%	その他	0.5%

2022年8月9日 (火)



ピュアモルト農業研修プログラム



若者が集い研修や飲食に自由に使えるピュアモルトクラブハウス

基幹産業の農業、特に酪農と畑作に従事する経営者の嫁不足解消の手段として取り組む。農業に興味を持つ女性を研修生として受け入れ、住宅の提供等手厚い支援のもと農家に派遣するマッチングシステム。

研修生の基本賃金(1日8時間、月25日の研修)

- ・月額180,000円を受け入れ農家が負担し支給される
- ・月額40,000円を自動車使用利用・保険等の物財費として農家に支払う。
- ・3ヵ月以上の研修で商品券30,000円を町より支給

ピュアハウス(バス・トイレ・キッチン・家電付)の入居費用

- ・入居費用(1年間無償)
- ・来町及び帰省する際の交通費・食費・水道光熱費は自費

社会的波及効果

- ・研修修了者230名中43名が町内に移住(25名が結婚)
- ・町の活性化にも繋がり、研修生希望農家も増加中

現状と課題

- ・マッチングの難しさ
- ・働き方や休暇などの待遇改善が必要



同じ敷地内にあるピュアハウス

ゼロカーボンへの取り組み

環境保全センター 中鹿追バイオマスガスプラント

町内にいる乳牛22,000頭の糞尿の処理に困り、活用するためにバイオガスを利用した一石五鳥となる取り組み

- 1 環境改善
- 2 農業生産力向上
- 3 地域産業活性化
- 4 循環型社会の形成
- 5 地球温暖化防止



今回は5番目の地球温暖化防止の取り組みよりバイオガスから水素を製造、精製も行いバイオマス自動車運航や発電を行い余剰熱によりチョウザメの飼育・マンゴー栽培・水耕栽培・育苗ハウス等を視察した。

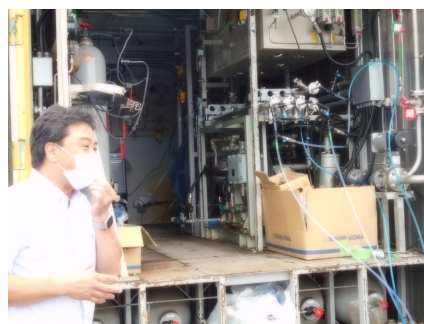


←水素圧縮装置

2015年より環境省「家畜ふん尿水素を活用した水素サプライチェーン実証実験事業」を実施、2022年事業化した

ふん尿から水素をつくるしくみ

- 1.発酵させバイオガスを発生
- 2.バイオガスからメタンを抽出
- 3.メタンガスから水素と一酸化炭素を発生
- 4.一酸化炭素と水蒸気を反応させ水素を発生



発電装置

発電電力量

年間
80万7000kw

一般家庭
240戸分



水素ステーション(スタンド)



東京オリンピックで使用した水素自動車(トヨタミライ)の
払い下げを町で10台民間企業で9台保有しており、そ
のステーションが設備されている
またフォークリフトも水素を利用している

しかおい自営線ネットワーク

FIT(再生可能エネルギーで発電した電気を、国が決めた価格で一定期間電力会
社に買い取りを義務付けた制度)

期間終了後を踏まえてバイオガスプラントで発生するエネル
ギーの受け皿とする事業

他にエネルギーの地産地消と災害時で
の業務継続も兼ねて事業化した

太陽光発電もパネル1,356枚設置し
440kwの発電と270kwが蓄電できる蓄
電池システムも整備

右の写真は蓄電池システムの一部





苫小牧市の概要

人口171,000人（北海道で4番目）

苫小牧のナンバーワン

- ・北寄貝水揚げ量日本一
- ・大規模な堀込港湾日本初
- ・内国貿易貨物量日本一

- ・海上出入貨物量全道1位 全国4位
- ・スポーツ都市宣言 全国で1番目宣言
- ・届出挙式 全国で1番初めに実施

◎海の玄関「苫小牧港」と空の玄関「新千歳空港」のダブルポート
紙・パルプ・金属加工が盛ん、道内最大の火力発電所
王子製紙(株)の本拠地であり、市への支援も多い



福祉トイレカー トマレット

車両

*価格 1,860万

*特徴

- ・小回りが利く車両サイズ
全長5.4m全高2.9m全幅1.9m
- ・バイオマストイレ搭載
おがくずにより分解
使用後は可燃物処理
凍結防止
- ・広々としたスペース
車いすユーザーの利用を
前提



上の写真のように車いすのまま
リフトして乗降する

右の写真がトイレ
中におがくずがあり水洗機
能はない
交換はここから掻き出す

今までの利用状況

コロナ以前は年40～50回出動
胆振地震の時隣町に7日間出動

運用方式

業務委託により運行

常時2名体制

年間委託料 600万

車検・保険・ごみ処理料 含む



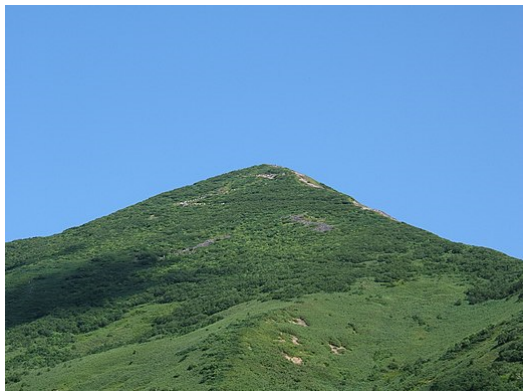


各種装備品 発電機、蓄電池、太陽光パネル 内部 エアコン、折り畳み式ベット

倶知安e街ギフトKUKURU (ククル) 旅先納税



スカイバスニセコ 倶知安駅～ニセコ駅まで夏の間運行している



倶知安町のプロフィール

- ・北海道の南西にあり札幌から2時間、道南と道央を結ぶ要点
- ・南東に支笏湖洞爺国立公園、羊蹄山、西にニセコ連邦が連なり豊かな自然の中、山岳地は家畜の飼育、盆地は馬鈴薯・ビートの耕作が行われている
- ・道内有数の豪雪地であり国際的なスキーリゾート地帯で外国人も多く訪れる
- ・人口14,000人 7800世帯

「KUKURU」とは

- ・旅先の納税(ふるさと納税)額に応じた返礼として発行される電子クーポン
- ・寄付額の3割を倶知安e街ギフトとして返礼
- ・町内来訪の観光客がスマートフォンで納税を行うと倶知安町内の加盟店で利用できる



KU-KURUの誕生

2020年リゾートホテルの支配人より電子チケットとふるさと納税をミックスした提案があり、2021年観光庁の実証実験に応募した

主催者及び事務局は倶知安観光協会

利用実績 R3.12.1～4.2.20
金額(寄付総額)

9,645,000円

最高額100万 一人
回数(寄付回数)

129回

クーポン利用総額

2,829,800円



